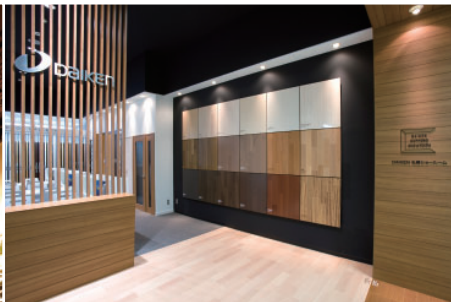
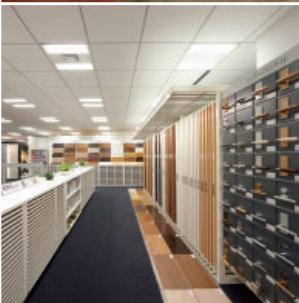


D.REPORT

第94期中間報告書

平成21年4月1日から平成21年9月30日まで



大建工業株式会社

証券コード 7905

住まいのエコは、建材選びから。

だからDAIKENはエコ建材にこだわります。

DAIKENの歴史はエコ素材の歴史。創業当初から再生資源や未利用資源を活かした、環境発想のモノづくりを行ってきました。

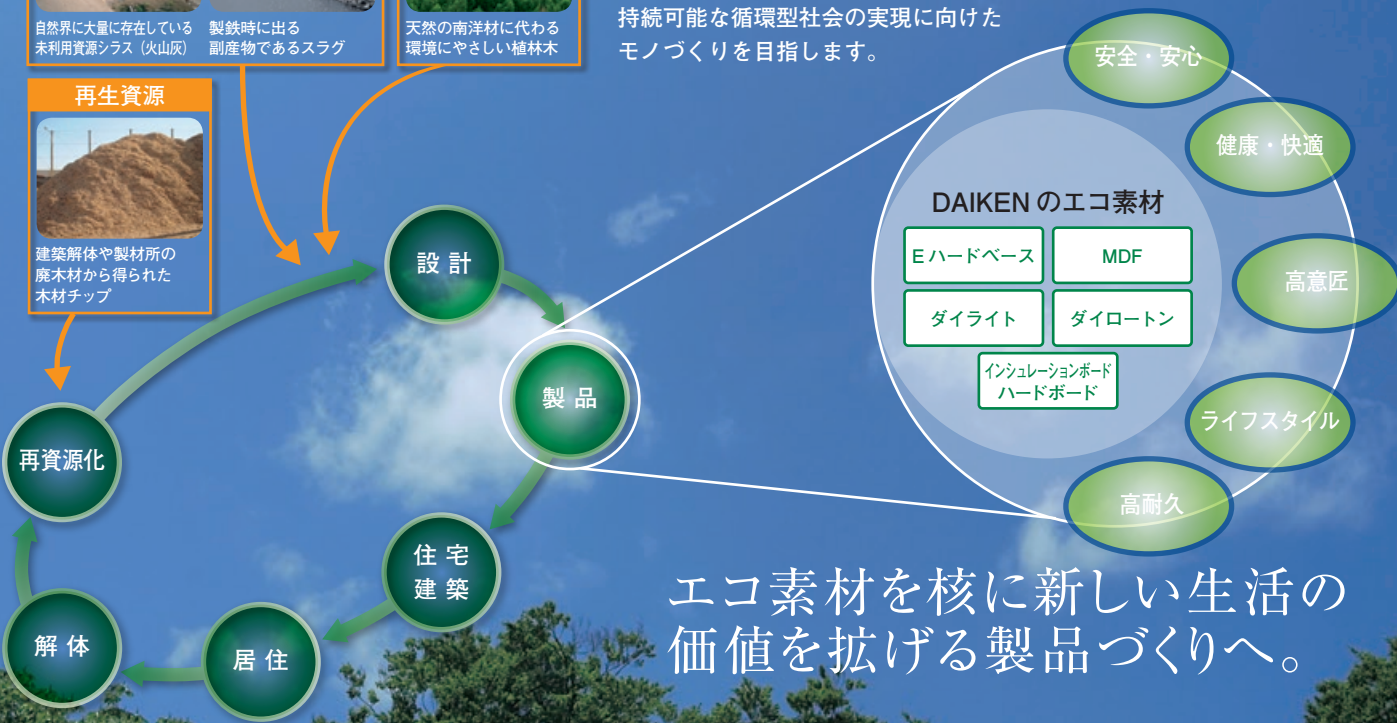
そして2010年、DAIKENは、次世代を見つめたエコネクストへ。資源循環型企業としてこれまで培ってきた独自のエコロジー技術を磨き、エコ素材を核にお客さまの視点に立った住み心地、健康快適性を追求します。

住まいの建材選びがエコにつながる、そんなエコ建材づくりを展開します。



DAIKENの環境発想のモノづくり

未利用・再生資源の循環利用を積極的に進め、持続可能な循環型社会の実現に向けたモノづくりを目指します。



エコ素材を核に新しい生活の価値を拡げる製品づくりへ。

株主の皆さまへ To Our Stockholders

株主の皆さまにおかれましては、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。ここに第94期第2四半期連結累計期間（平成21年4月1日から平成21年9月30日まで）における当社グループの営業の概況をご報告申し上げます。

当第2四半期連結累計期間のわが国経済は、世界同時不況に伴う景気の悪化に下げ止まりの兆しが見られるものの、設備投資の減少、個人消費の低迷、雇用環境の悪化など依然として厳しい経済環境となりました。特に住宅業界におきましては、当期間（平成21年4～9月）の新設住宅着工戸数が、前年同期比34%減という極めて低い水準で推移する厳しい環境下にありました。

このような経営環境のもと、当社グループは企業体質の強化に向け、合板や石化製品など原材料コストの削減や生産性向上を図るとともに、総人件費をはじめとする固定費の削減にグループ全体で取り組むことで、収益力の向上に努めました。また、新設住宅着工戸数のみに依存しない事業構造を構築するため、成長が見込まれる非住宅市場、産業資材市場、海外市場における用途開拓、顧客開拓を進めました。リモデル市場の開拓につきましても、環境配慮を軸としたTOTO・DAIKEN・YKK AP3社による「グリーンリモデル」を広くお客さまに提案し需要の掘り起こしに努めました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高689億3百万円（前年同期比11.3%減）、営業利益6億88百万円（同49.4%減）、経常利益5億77百万円（同56.1%減）、四半期純利益2億83百万円（同121.1%増）となりました。

今後につきましても、景気の先行きは不透明感が強く、個人消費マインドの冷え込みから新設住宅着工戸数も引き続き低い水準で推移するものと予測されます。

このような環境のもと、企業間競争のよりいっそうの激

化や原材料価格の変動など懸念材料も多く、厳しい経営環境が続くものと予測されますが、引き続き固定費削減を軸に企業体質の強化に取り組む一方、合板代替のエコ素材事業の拡大、リモデル市場の開拓、魅力ある新製品の投入による需要獲得を進めてまいります。

株主の皆さまにおかれましては、倍旧のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



住宅・建設資材関連事業



エクオスロッジ施工例

当社コア事業である合板代替のエコ素材事業につきましては、インシュレーションボード、ダイライト、ハードボードは苦戦を強いられましたが、MDFは海外市場を中心に新規需要を獲得し、ダイロートンはビル・店舗向けロックウール天井材のシェア拡大により前年同期を大きく上回る売上となりました。

床材を中心とする内装材事業につきましては、生産拠点の集約化による固定費の削減と併せ、国産針葉樹合板と特殊MDFを組み合わせたエコ台板を採用した「フォレスハード」を市場限定で先行発売し、環境配慮型床材の品揃えを

拡充しました。また、新たな技術を導入することで意匠性を高めた高機能WPC床材「エクオスロッジ」「エクオスマラー」を発売し、市場ニーズに対応した品揃えの強化を図りました。

住機製品事業につきましては、海外生産の拡大、リードタイム短縮など、市場対応力を強化するとともに、中核製品であるドア、収納、階段、造作材の拡販に努めました。

営業面につきましては、首都圏の新たな製品情報の発信基地として「東京ショールーム」、アライアンス先であるTOTO株式会社と共同で運営する「TOTO・DAIKEN札幌コラボレーションショールーム」をオープンすることで、お客さまとの接点を拡大し提案力強化と拡販に努めました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高603億36百万円（前年同期比11.2%減）、営業利益7億27百万円（同42.3%減）となりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高85億66百万円（前年同期比12.2%減）、営業損失38百万円（前年同期は営業利益1億円）となりました。

開拓に努めました。住宅工事関連事業につきましては、注文住宅、分譲一戸建の受注減少で工事金額が減少しました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高85億66百万円（前年同期比12.2%減）、営業損失38百万円（前年同期は営業利益1億円）となりました。

建設工事関連事業につきましては、業務効率を高めることで原価低減を進める一方、複合受注と展開エリアの拡大による新規需要の

拡大による新規需要の

拡大による新規需要の

住宅・建設工事関連事業



内装工事物件

建設工事関連事業につきましては、業務効率を高めることで原価低減を進める一方、複合受注と展開エリアの拡大による新規需要の

通期の見通し Forecast

平成21年10月30日の第2四半期決算短信での発表どおり、通期の連結業績の見通しは、売上高1,420億円（前期比5.5%減）、経常利益20億80百万円（同56.2%増）、当期純利益10億円（同67.0%増）を計画しております。

4月

『リモデルスタイルフェア'08-'09』大盛況

昨年10月にスタートした同フェアは、東京と札幌会場でフィナーレを迎えました。同フェアには7会場合計で目標を上回る約9万人のお客さまが来場され、暮らしに快適で地球にもやさしい「グリーンリモデル」を実感いただきました。



リモデルスタイルフェア'08-'09

5月

木質繊維板の回収・リサイクルシステムを確立

高萩大建工業株式会社と岡山大建工業株式会社で産業廃棄物処理の広域認定を取得し、産業廃棄物として建築現場から排出されるインシュレーションボード(木質繊維板)を回収・リサイクルするシステムを確立しました。



第4工場が竣工した三重ダイケン久居工場

6月

WPCの新製造ラインが竣工・稼働

WPC洋風フローアの主力生産拠点である三重ダイケン株式会社久居工場の第4工場が完成。より競争力の高い製品を生み出すことのできる最新鋭のWPC製造ラインが竣工・稼働しました。

7月

WWFの環境植林活動を支援

WWF(世界自然保護基金)が推進するボルネオ島における環境植林プログラムに参加。熱帯林再生を通して、絶滅危惧種であるオランウータンをはじめとする生態系保全、地球環境保全に取り組んでまいります。



WWFの現地植林エリア(マレーシア・ボルネオ島)

8月

『CSR報告書2009』を発行

エコ素材を軸とする事業活動や、環境への取り組みの基本的な考え、生産活動の環境負荷などを対談や図表で紹介しております。データを含むフルレポート(詳細)はホームページに掲載しております。



CSR報告書2009

9月

業界初“優れた環境配慮を実施”の評価

株式会社三井住友銀行の「S M B C 環境配慮評価融資」制度において、当社グループは建材業界で初めて『企業経営において優れた環境配慮を実施』との評価を受けました。

DAIKEN製品の魅力を体感・実感いただける ショールーム・コーディネートプラザを日本全国に展開。

各ショールーム・コーディネートプラザでは製品のサンプルを豊富に展示し、お客さまの実物確認ニーズにお応えしております。さらに、プランボード作成、見積サービスなどを行い、お客さまに納得いただくまで専任スタッフが「豊かな住環境」づくりをきめ細かくサポートいたします。今後につきましても、お客さまの生活シーンを捉えた住空間の提案の場として、DAIKEN製品の魅力を体感・実感いただけるコミュニケーションのネットワークをさらに拡充・発展させてまいります。

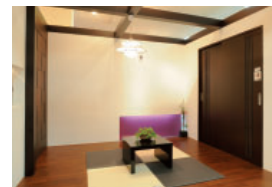
■岡山コーディネートプラザ

岡山市南区海岸通2-5-8
岡山大建工業株式会社敷地内

TOTO・DAIKEN・YKK AP 広島コラボレーションショールーム

■広島コーディネートプラザ

広島市南区宇品西4-1-36



■福岡コーディネートプラザ

福岡市博多区豊1-4-32



■大阪コーディネートプラザ

大阪市鶴見区浜4-19-3



■宇都宮コーディネートプラザ

宇都宮市錦3-6-20

■新潟コーディネートプラザ

新潟市中央区上所中1-13-8

■金沢コーディネートプラザ

金沢市西念1-2-11

■仙台コーディネートプラザ

仙台市太白区泉崎1-34-8

■長野コーディネートプラザ

長野市大字大豆島4177-3

■名古屋コーディネートプラザ

名古屋市中区栄1-3-3



TOTO・DAIKEN 高松コラボレーションショールーム

■高松コーディネートプラザ

高松市松縄町49-1

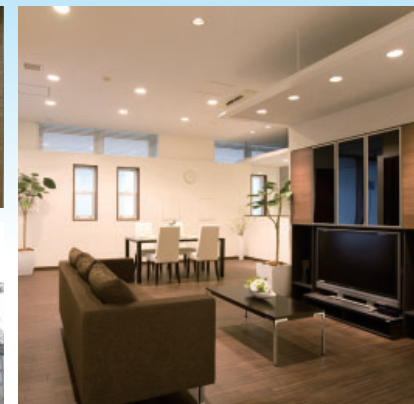


New Open

TOTO・DAIKEN 札幌コラボレーションショールーム

■札幌ショールーム

札幌市中央区北1条東7-1-8



広島、高松に続く全国3ヶ所目のコラボレーションショールーム。「CO2削減」「長もち住宅」「健康配慮」の3つの視点で企画した商品を使用し、カラーテイストをトータルコーディネートした3つのLDK空間が確認できる「グリーンリモデル空間展示」が特徴です。



New Open

■東京ショールーム

東京都千代田区外神田3-12-8
住友不動産秋葉原ビル3F

「体験する・感じる・選ぶ」の3つをテーマに、DAIKENの“こだわり”を凝縮した旗艦ショールーム。音響・創音技術を駆使した最新鋭設備の防音ルームや、暮らしにも地球にも快適な「グリーンリモデル」のLDK空間、国内最大級の室内ドア展示本数(約130本)を誇るサンプルゾーンが特徴です。

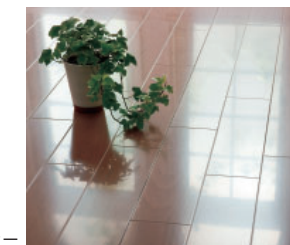
！ 注目の新製品

『エクオスロッツ』 『エクオスマラー』を新発売

傷つきにくく、汚れや水に強い床材「WPC(=ウッド・プラスチック・コンビネーション)」が発売40周年を迎えるにあたり、WPC技術の進化型商品として、ネオテックWPC-Wフロー『エクオスロッツ』(木が本来もつ木肌感を表現したマットコート仕上げ)と『エクオスマラー』(独特の深みのある化粧で、輝きを放つスーパーファインコート仕上げ)を、7月21日から全国発売。最高級機能のWPC床材をよりお求め易い価格でご提供することにより、お客さまの選択の幅を広げ、新たな需要の獲得を目指します。



エクオスロッツ



エクオスマラー

● 連結貸借対照表

(単位：百万円)

科目	前連結会計年度末 (平成21年3月31日現在)	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日現在)
(資産の部)		
流動資産	61,545	60,042
現金及び預金	9,770	8,737
受取手形及び売掛金	24,552	28,360
商品及び製品	12,410	11,665
仕掛品	2,039	1,857
原材料及び貯蔵品	3,749	3,280
半成工事	3,422	2,639
繰延税金資産	1,062	921
その他	4,631	2,679
貸倒引当金	△93	△98
固定資産	63,480	66,066
有形固定資産	42,372	43,003
建物及び構築物(純額)	11,416	11,987
機械装置及び運搬具(純額)	12,925	13,087
土地	15,759	15,483
建設仮勘定	1,126	717
その他(純額)	1,144	1,727
無形固定資産	2,027	1,988
のれん	1,414	1,347
その他	612	641
投資その他の資産	19,080	21,073
投資有価証券	8,667	10,036
前払年金費用	3,681	3,364
繰延税金資産	4,444	5,334
その他	2,886	3,199
貸倒引当金	△598	△860
繰延資産	55	47
資産合計	125,080	126,157

(単位：百万円)

科目	前連結会計年度末 (平成21年3月31日現在)	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日現在)
(負債の部)		
流動負債	65,547	62,943
支払手形及び買掛金	16,656	16,689
短期借入金	13,719	13,899
1年内返済予定の長期借入金	3,765	4,426
未払金	23,470	21,358
未払法人税等	880	605
賞与引当金	1,290	1,534
事業構造改善引当金	849	162
事務所移転損失引当金	224	—
繰延税金負債	—	1
その他	4,690	4,265
固定負債	24,970	27,583
社債	5,000	5,000
長期借入金	14,003	16,201
繰延税金負債	1,531	1,533
製品保証引当金	187	419
退職給付引当金	3,380	3,219
環境対策引当金	161	161
負ののれん	139	133
その他	567	914
負債合計	90,518	90,527
(純資産の部)		
株主資本	33,441	33,456
資本金	13,150	13,150
資本剰余金	11,850	11,850
利益剰余金	9,093	9,108
自己株式	△652	△652
評価・換算差額等	△1,921	△1,061
その他有価証券評価差額金	△1,254	△817
繰延ヘッジ損益	1	△3
為替換算調整勘定	△668	△239
少数株主持分	3,042	3,234
純資産合計	34,562	35,629
負債純資産合計	125,080	126,157

● 連結損益計算書(要旨)

(単位：百万円)

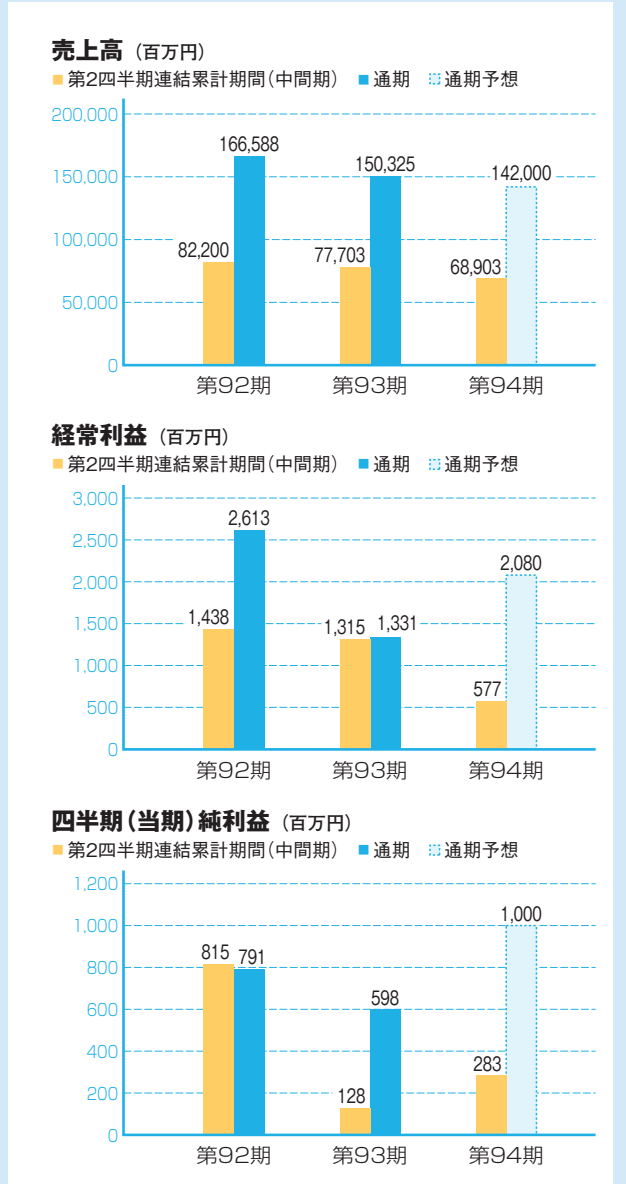
科目	前第2四半期連結累計期間 (平成20年4月1日から 平成20年9月30日まで)	当第2四半期連結累計期間 (平成21年4月1日から 平成21年9月30日まで)
売上高	77,703	68,903
売上原価	58,714	51,485
売上総利益	18,989	17,418
販売費及び一般管理費	17,627	16,729
営業利益	1,361	688
営業外収益	515	468
営業外費用	561	579
経常利益	1,315	577
特別利益	507	113
特別損失	2,426	1,474
税金等調整前四半期純損失(△)	△602	△782
法人税、住民税及び事業税	680	571
法人税等調整額	△1,579	△1,484
少数株主利益又は少数株主損失(△)	168	△152
四半期純利益	128	283

● 連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位：百万円)

科目	前第2四半期連結累計期間 (平成20年4月1日から 平成20年9月30日まで)	当第2四半期連結累計期間 (平成21年4月1日から 平成21年9月30日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	539	△1,490
投資活動によるキャッシュ・フロー	△938	△1,890
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,818	2,134
現金及び現金同等物に係る換算差額	△9	181
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△2,226	△1,064
現金及び現金同等物の期首残高	12,058	9,730
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	117	4
現金及び現金同等物の四半期末残高	9,948	8,671

■ 連結業績の推移



● 会社の概要 (平成21年9月30日現在)

設立年月日 昭和20年9月26日

資本金 131億5,003万9,080円

本社及び事業所

本店 富山県南砺市井波1番地1

本社大阪事務所 大阪市北区堂島1丁目6番20号

東京事務所 東京都千代田区外神田3丁目12番8号

営業所 札幌、仙台、新潟、さいたま、東京、名古屋、金沢、大阪、広島、高松、福岡他

海外拠点 上海、シンガポール、ミリ (マレーシア)、ソウル

国内生産工場 井波大建工業株式会社《富山県南砺市》
岡山大建工業株式会社《岡山市》
高萩大建工業株式会社《茨城県高萩市》
三重ダイケン株式会社《津市》
会津大建工業株式会社《福島県会津若松市》
富山住機株式会社《富山県砺波市》
株式会社ダイウッド《三重県伊賀市》
株式会社ダイフィット《鳥取県倉吉市》
株式会社サンキ《富山県高岡市》
株式会社ダイタック《岡山市》
セトウチ化工株式会社《岡山市》
エコテクノ株式会社《神奈川県相模原市》

海外生産工場 大建工業 (寧波) 有限公司 (中国)
DAIKEN MIRI SDN. BHD. (マレーシア)
DAIKEN SARAWAK SDN. BHD. (マレーシア)
DAIKEN NEW ZEALAND LIMITED (ニュージーランド)

● 役員 (平成21年9月30日現在)

取締役	代表取締役 井邊博行
代表取締役	澤木良次
代表取締役	藤井克巳
取締役	竹倉吉二
取締役	伊藤章真
取締役	億田正一
取締役	長谷川泰之
取締役	山中健司
取締役	加藤智明
監査役	三坂直彦
常勤監査役	林吉敏
社外監査役	柴田朋史
社外監査役	柴田敏晶
執行役員	澤木良次
執行役員	藤井克巳
専務執行役員	竹倉吉二
常務執行役員	伊藤章真
常務執行役員	億田正一
常務執行役員	加藤泰之
常務執行役員	山中健司
執行役員	津田康次
執行役員	作田順一
執行役員	吉原修一
執行役員	谷津正美
執行役員	島田博
執行役員	今村喜久雄
執行役員	北川隆雄

● 株式の状況 (平成21年9月30日現在)

発行可能株式総数..... 398,218,000株

発行済株式の総数..... 130,875,219株

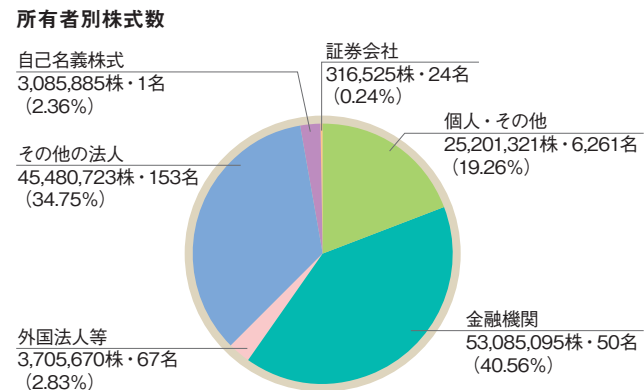
株主数..... 6,556名

● 大株主の状況 (平成21年9月30日現在)

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
伊藤忠商事株式会社	26,176	20.00
株式会社三井住友銀行	4,934	3.77
三井住友海上火災保険株式会社	4,880	3.73
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	4,807	3.67
住友生命保険相互会社	4,656	3.56
住友信託銀行株式会社	4,440	3.39
株式会社みずほコーポレート銀行	3,500	2.67
日本生命保険相互会社	3,409	2.61
住友林業株式会社	3,191	2.44
丸紅株式会社	2,821	2.16

(注) 当社は自己株式3,085千株を保有しておりますが、上記の大株主には含めておりません。

● 株式分布状況 (平成21年9月30日現在)



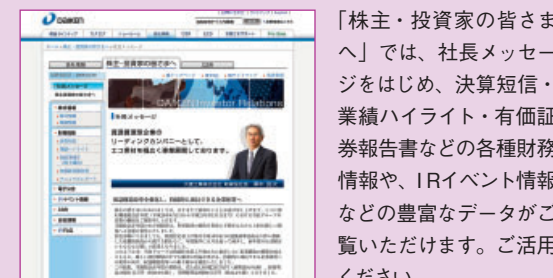
当社のホームページでも
詳しい情報を開示しております。

<http://www.daiken.jp/>

大建工業 検索



情報サイトの一部



株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで		
定時株主総会	毎年6月開催		
基準日	定時株主総会	毎年3月31日	
	期末配当金	毎年3月31日	
	中間配当金	毎年9月30日	
	そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日		

【株式に関する住所変更等のお届出及びご照会について】

証券会社に口座を開設されている株主さまは、住所変更等のお届出及びご照会は、口座のある証券会社宛にお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株主さまは、下記の電話照会先にご連絡ください。

株主名簿管理人及び
特別口座の口座管理機関 大阪市中央区北浜四丁目5番33号
住友信託銀行株式会社

株主名簿管理人
事務取扱場所 大阪市中央区北浜四丁目5番33号
住友信託銀行株式会社 証券代行部

(郵便物送付先) 〒183-8701
東京都府中市日鋼町1番10
住友信託銀行株式会社 証券代行部

(電話照会先) ☎ 0120-176-417

(インターネット) <http://www.sumitomotrust.co.jp/STA/retail/service/daiko/index.html>

【特別口座について】

株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主さまには、株主名簿管理人である上記の住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といいます。)を開設いたしました。特別口座についてのご照会及び住所変更等のお届出は、上記の電話照会先をお願いいたします。

【上場株式配当等の支払いに関する通知書について】

租税特別措置法の平成20年改正(平成20年4月30日法律第23号)により、平成21年1月以降に当社がお支払いする配当金について、配当金額や徴収税額等を記載した「支払通知書」を株主さま宛にお送りすることになりました(同封の「配当金計算書」が、「支払通知書」を兼ねることになります)。なお、「支払通知書」は、株主さまが確定申告をする際の添付資料としてご使用いただくことができます。

公告の方法 電子公告(当社のホームページに掲載する。)
<<http://www.daiken.jp/>>

上場証券取引所 東京、大阪証券取引所



DAIKEN

<http://www.daiken.jp/>

大建工業株式会社